

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年11月1日(2018.11.1)

【公開番号】特開2017-60064(P2017-60064A)

【公開日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2017-012

【出願番号】特願2015-184525(P2015-184525)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 1 J 29/42 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 C

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/42 F

G 0 3 G 21/00 3 8 8

G 0 3 G 21/00 3 7 6

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月13日(2018.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ジョブ処理装置であって、

ユーザを認証する認証手段と、

前記ジョブ処理装置に前記認証手段によって認証されたユーザをログインさせるログイン手段と、

前記ジョブ処理装置にログインしているユーザから受け付けたジョブの設定情報を前記ユーザの識別情報に対応づけて記憶する記憶手段と、

前記ジョブ処理装置からユーザをログアウトさせるログアウト手段と、

前記ログアウト手段によってログアウトしたユーザが、前記ログイン手段によって前記ジョブ処理装置に再びログインしたことに応じて、前記ユーザの前記設定情報を復元するか否かを確認するダイアログを表示させ、前記設定情報を復元すると指示されたことに基づき、前記記憶手段によって記憶された前記設定情報が反映された画面を表示させる表示制御手段と、

を有することを特徴とするジョブ処理装置。

【請求項 2】

前記表示制御手段は、前記設定情報を復元しないと指示されたことに基づき、デフォルトの設定画面を表示させることを特徴とする請求項 1 に記載のジョブ処理装置。

【請求項 3】

さらに、前記設定情報に基づいてジョブを実行する実行手段を有することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のジョブ処理装置。

【請求項 4】

前記記憶手段は、前記ジョブ処理装置にログインしているユーザが前記ジョブ処理装置

からログアウトすることに基づいて、前記ユーザから受け付けた前記ジョブの設定情報を前記ユーザの識別情報に対応づけて記憶する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のジョブ処理装置。

【請求項 5】

ジョブ処理装置であって、

ユーザを認証する認証手段と、

前記ジョブ処理装置に前記認証手段によって認証されたユーザをログインさせるログイン手段と、

ログアウトの指示に基づき、前記認証されたユーザから受け付けたジョブの設定情報を、前記ユーザの識別情報に対応付けてログアウト後も記憶するか否かを確認するダイアログを表示させ、前記設定情報を記憶すると指示されたことに基づき、前記設定情報を記憶する記憶手段と、

前記ログアウトの指示に基づき、前記ジョブ処理装置から前記ログイン手段によってログインされたユーザのログアウト処理を行うログアウト手段と、

前記ログアウト手段によってログアウトしたユーザが、前記ログイン手段によって前記ジョブ処理装置に再びログインしたことに応じて、前記記憶された設定情報が反映された画面を表示させる表示制御手段と、

を有することを特徴とするジョブ処理装置。

【請求項 6】

前記表示制御手段は、前記ログアウト手段によってログアウトしたユーザが、前記ログイン手段によって前記ジョブ処理装置に再びログインしたことに応じて、前記ユーザの前記設定情報を復元するか否かを確認するダイアログを表示させ、前記設定情報を復元すると指示されたことに基づき、前記記憶された設定情報が反映された画面を表示させることを特徴とする請求項 5 に記載のジョブ処理装置。

【請求項 7】

前記表示制御手段は、前記設定情報を復元しないと指示されたことに基づき、デフォルトの設定情報が反映された画面を表示させることを特徴とする請求項 6 に記載のジョブ処理装置。

【請求項 8】

ジョブ処理装置の制御方法であって、

ユーザを認証する認証工程と、

前記ジョブ処理装置に前記認証工程によって認証されたユーザをログインさせるログイン工程と、

前記ジョブ処理装置にログインしているユーザから受け付けたジョブの設定情報を前記ユーザの識別情報に対応づけて記憶する記憶工程と、

前記ジョブ処理装置からユーザをログアウトさせるログアウト工程と、

前記ログアウト工程段によってログアウトしたユーザが、前記ログイン工程によって前記ジョブ処理装置に再びログインしたことに応じて、前記ユーザの前記設定情報を復元するか否かを確認するダイアログを表示させ、前記設定情報を復元すると指示されたことに基づき、前記記憶工程によって記憶された前記設定情報が反映された画面を表示させる表示制御工程と、

を有することを特徴とするジョブ処理装置の制御方法。

【請求項 9】

ジョブ処理装置の制御方法であって、

ユーザを認証する認証工程と、

前記ジョブ処理装置に前記認証工程によって認証されたユーザをログインさせるログイン工程と、

ログアウトの指示に基づき、前記認証されたユーザから受け付けたジョブの設定情報を、前記ユーザの識別情報に対応付けてログアウト後も記憶するか否かを確認するダイアログを表示させ、前記設定情報を記憶すると指示されたことに基づき、前記設定情報を記憶

する記憶工程と、

前記ログアウトの指示に基づき、前記ジョブ処理装置から前記ログイン工程によってログインされたユーザのログアウト処理を行うログアウト工程と、

前記ログアウト工程によってログアウトしたユーザが、前記ログイン工程によって前記ジョブ処理装置に再びログインしたことに応じて、前記記憶された設定情報が反映された画面を表示させる表示制御工程と、

を有することを特徴とするジョブ処理装置の制御方法。

【請求項 10】

請求項 8 または 9 に記載のジョブ処理装置の制御方法を、コンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するために本発明の一態様に係るジョブ処理装置は以下のような構成を備える。即ち、ジョブ処理装置であって、ユーザを認証する認証手段と、前記ジョブ処理装置に前記認証手段によって認証されたユーザをログインさせるログイン手段と、前記ジョブ処理装置にログインしているユーザから受け付けたジョブの設定情報を前記ユーザの識別情報に対応づけて記憶する記憶手段と、前記ジョブ処理装置からユーザをログアウトさせるログアウト手段と、前記ログアウト手段によってログアウトしたユーザが、前記ログイン手段によって前記ジョブ処理装置に再びログインしたことに応じて、前記ユーザの前記設定情報を復元するか否かを確認するダイアログを表示させ、前記設定情報を復元すると指示されたことに基づき、前記記憶手段によって記憶された前記設定情報が反映された画面を表示させる表示制御手段と、を有することを特徴とする。

また、本発明の一態様に係るジョブ処理装置は以下のような構成を備える。即ち、ジョブ処理装置であって、ユーザを認証する認証手段と、前記ジョブ処理装置に前記認証手段によって認証されたユーザをログインさせるログイン手段と、ログアウトの指示に基づき、前記認証されたユーザから受け付けたジョブの設定情報を、前記ユーザの識別情報に対応付けてログアウト後も記憶するか否かを確認するダイアログを表示させ、前記設定情報を記憶すると指示されたことに基づき、前記設定情報を記憶する記憶手段と、前記ログアウトの指示に基づき、前記ジョブ処理装置から前記ログイン手段によってログインされたユーザのログアウト処理を行うログアウト手段と、前記ログアウト手段によってログアウトしたユーザが、前記ログイン手段によって前記ジョブ処理装置に再びログインしたことに応じて、前記記憶された設定情報が反映された画面を表示させる表示制御手段と、を有することを特徴とする。